

青森県弘前市生まれ。

物心つく前に北海道函館市へ移り住み、幼少期を函館山の麓の、深い緑と青い海に囲まれた自然豊かな場所で過ごす。

家のまわりの野山を駆け回り、森の木に登ったり近所の海で泳いだ。冬はどこまでも続く真っ白な雪原が遊び場。自然の中で過ごす時間が多く、木の枝や蔦などを集めては、遊びの道具を自作するのが好きだった。

中学の頃には、木や野山が好きなことを活かし、自分の手で何かを作り出す仕事がしたいと考え、函館工業高校建築科へ進学。高校卒業後は、就職のため北海道のほぼ中央にある旭川市へ移住。在職中に2級建築施工管理士取得。

この頃、建築の仕事を通じ旭川が「家具の街」であることを知る。

その後、海外での見聞に興味を持ち、カリフォルニア州ロサンゼルスへ。

人と関わることが好きな性格で、ここでの色々な国の人たちとの出会いが、生活や仕事への価値観を大きく変えるきっかけとなった。

そして、建築よりももっと使い手との距離が近い仕事をしたいと考え、「自分の手で作り出す仕事」という原点に立ち返り、元々あったインテリアへの興味が家具職人になりたいという想いになり、帰国を決意。再び旭川へ。

帰国後、株式会社匠美社へ入社。特注家具や店舗什器など、一点物の製作をメインに幅広く製作。入社半年で特注家具の図面に合わせ、自分一人での製作を任せられるようになる。数年後、デパートの什器などを多く製作していた頃、大型店舗などはテナントの入れ替わりも激しくすぐに取り壊されている物もある現状を知り、ショックを受ける。

せっかく精魂込めて作ったものが数年で廃棄され、環境の負荷になっている現実、なんとも言えない歯がゆさを感じる。

そこで、長く愛される家具でもあり、以前から好きだった北欧家具のデザインや風合いを肌で感じたいと思い、デンマーク視察を行い、デザインや環境配慮への国の姿勢に感銘を受ける。歴史あるものを大切に、自国のものを愛する。また、自分たちのために作り出した物が、世界中から評価される現実を知る。

そんな空気に包まれている街を歩きながら、羨ましいと思うと同時に、旭川でも同じことができないだろうか、自分が本当にやりたいことは何かを考え、こういったデンマークをはじめ北欧諸国の持つ、使う人のために想って考えられたシンプルで使いやすく、美しいデザインの考え方をデザインの主軸とすることとし、AISU project のコンセプトを考案。

デンマークより帰国し、5年半務めた会社を退職。自分の想いを形にするため新たな一歩を踏み出すべく、

2012年11月1日「使い捨てない、長く愛す」をコンセプトに、AISU project（愛すプロジェクト）を設立。

2016年3月旭川家具工房連へ加入。旭川家具センター（現旭川デザインセンター）にてオリジナルデザインの家具を、グループにて常設展示。

2017年9月、コンセプトを多くの皆さんに支持していただき、異例の速さで業績を伸ばし正式に旭川家具工業協同組合へ加入。

現在、AISU project 単体の展示ブースを構え、オリジナルの家具を展示・販売している。